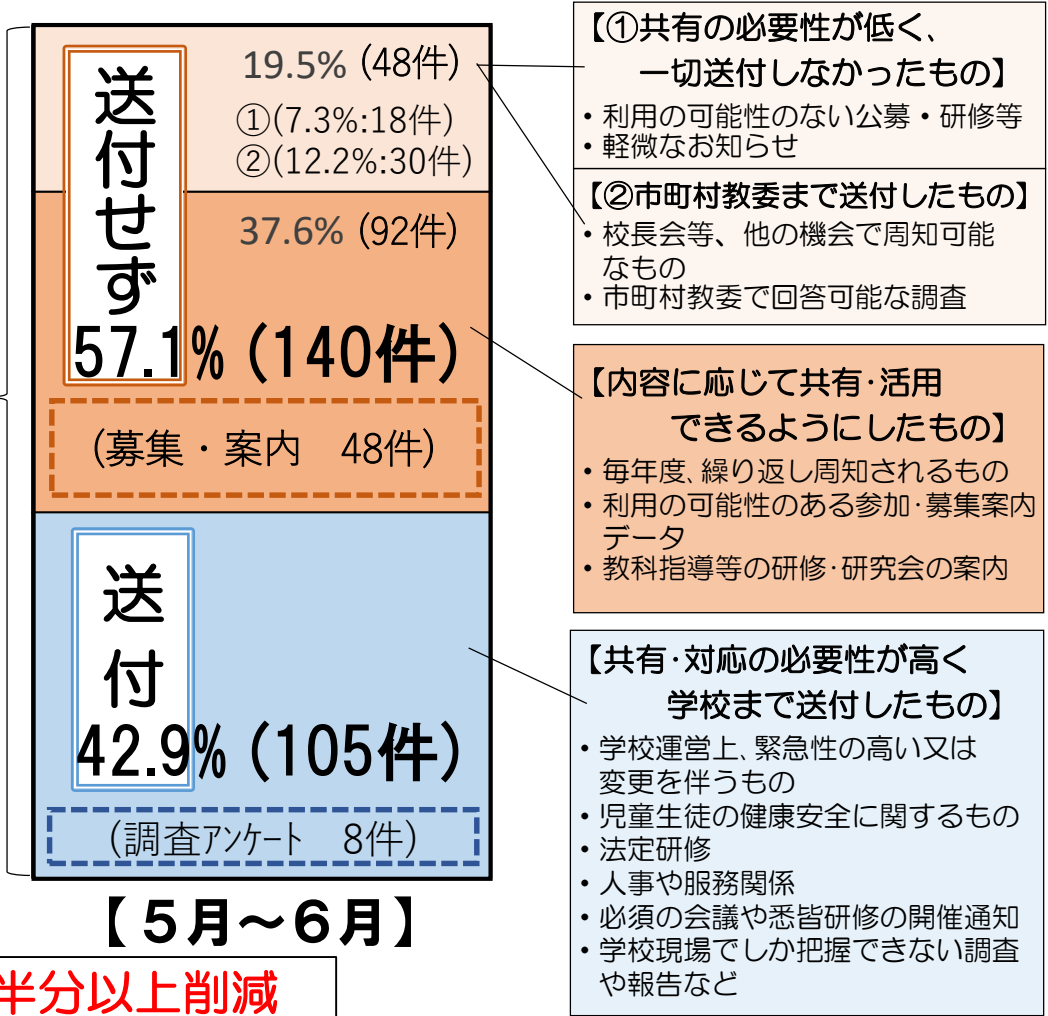
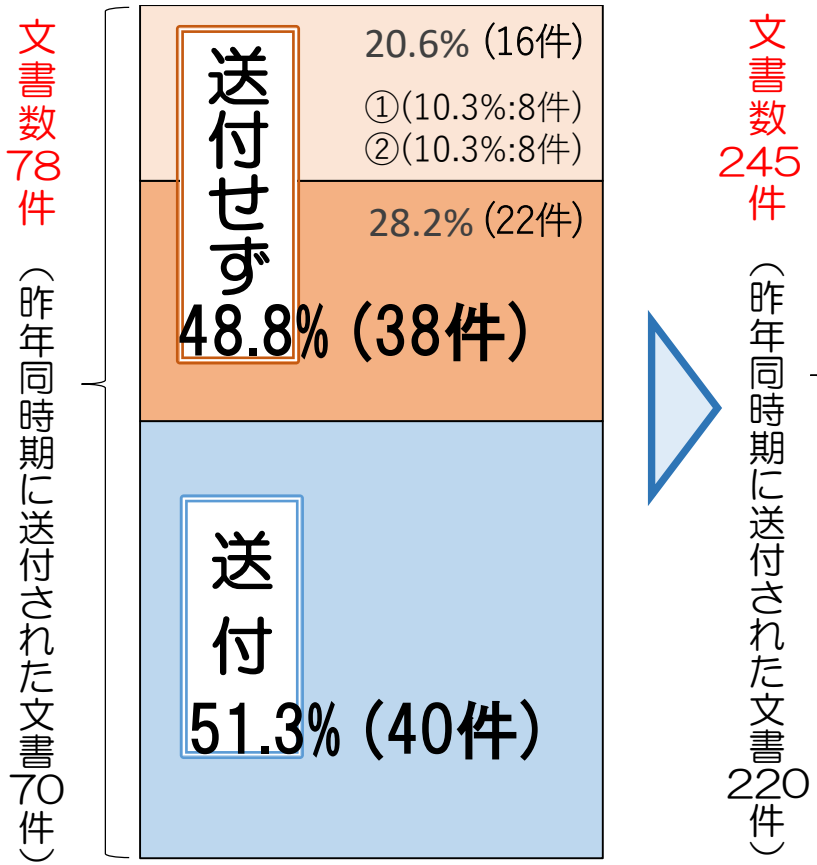


## 【4月と5・6月の取組み状況の比較】

- ◆ **小中学校**：グループウェア（キャビネット）によるデータを共有する仕組みの活用を更に進めたことで、送付する文書を**半分以上削減**
  - ・グループウェア（キャビネット）に保管したデータのうち、イベント募集・案内や、職員研修・研究会の案内がおよそ半分。

## 県教委から学校への文書送付の状況（**小中学校**：4月と5・6月の比較）



【4月】 4/11~4/28

【5月~6月】

**昨年度と比較し、半分以上削減**

## 【4月と5・6月の取り組み状況の比較】

◆ **県立学校**：4月は、1割の削減にとどまったものの、**5月～6月は**、これまで学校現場に送付していた文書のおよそ半分を削減。

- ・5月から、内容に応じて各学校がデータを共有・活用できる仕組みを導入したことで、4月から大きく改善。
- ・新たな仕組みで学校と共有したデータのうち、イベント募集・案内や、職員研修・研究会の案内がおよそ半分。

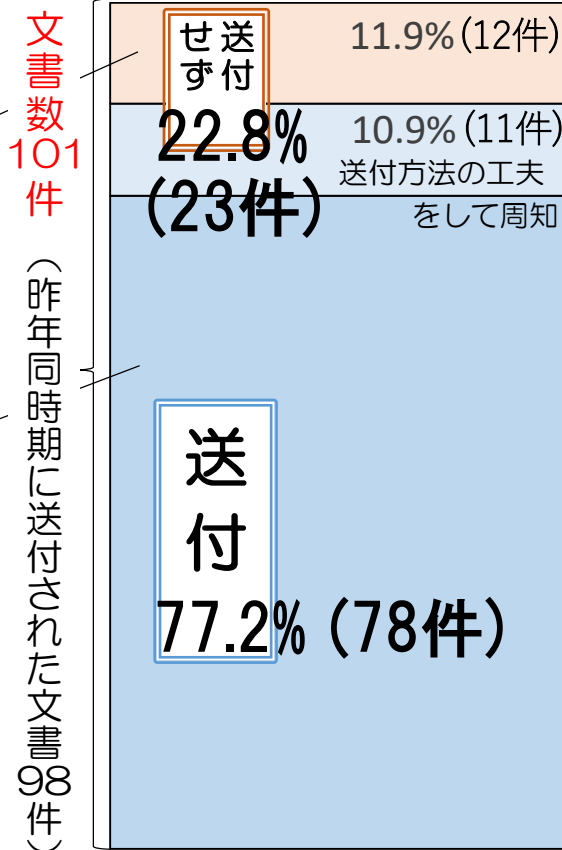
## 県教委から学校への文書送付の状況（**県立学校**：4月と5・6月の比較）

【共有の必要性が低く、一切送付しなかったもの】

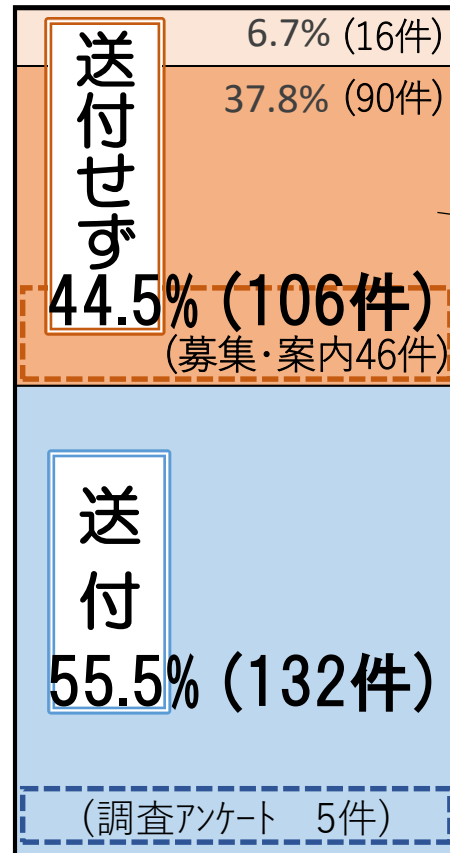
- ・利用の可能性のない公募・研修等
- ・他の通知と統合できるもの

【共有・対応の必要性が高く、送付したもの】

- ・学校運営上、緊急性の高い又は変更を伴うもの
- ・児童生徒の健康安全に関するもの
- ・法定研修
- ・人事や服務関係
- ・必須の会議や悉皆研修の開催通知
- ・学校現場でしか把握できない調査や報告など



データ共有・活用の新たな仕組みを導入



【内容に応じて共有・活用できるようにしたもの】

- ・毎年度、繰り返し周知されるもの
- ・利用の可能性のある参加・募集案内データ
- ・教科指導等の研修研究会の案内

【4月】 4/11～4/28

【5月～6月】

昨年度と比較し、およそ半分まで削減